

## 第5回検討委員会における意見の対応及び平成26年度検討成果からの変更点について

頁	項目	変更内容	変更理由
-	計画名称	総合交通計画（仮称）を『豊橋市都市交通計画 2016-2025 ～「市電が育むまち」豊橋の交通まちづくり～』とした。	事務局精査
-	計画構成	昨年度整理した都市交通マスタープランの部分を「第2章. 基本計画（都市交通マスタープラン）」とし、本年度整理する交通戦略の部分を「第3章. 実施計画（交通戦略）」とした。	事務局精査
-	計画構成	基本計画（都市交通マスタープラン）に「計画区域」の記載を追加した。	事務局精査
-	計画構成	計画書を見やすく整理するため、「前都市交通マスタープランの検証」、「本市の概況」、「本市の交通の現状と課題」については参考資料として巻末に掲載した。なお、この内の「本市の交通の概況」及び「本市の交通課題（一覧）」は本編中に残した。	事務局精査 作業部会意見
3	計画の位置付け	本計画を「都市・地域総合交通戦略」と「地域公共交通網形成計画」の両方に位置付けるための必要な記述を追加した。 「豊橋市都市交通ビジョン」は本計画の理念に含めているので、位置付けからは削除した。 昨年度の時点で示していた「本計画の全体構成」は削除した。	事務局精査
24 ～ 28	目標の評価指標と指標値	評価指標の設定根拠を明確にするため、「評価指標設定の狙い」と「評価指標の目標設定の考え方」の記述を追加した。	検討委員会 意見
24	目標の評価指標と指標値	評価指標1-1について、自転車と公共交通の指標値を分けて示した。	検討委員会 意見
26	目標の評価指標と指標値	評価指標2-1について、豊橋駅や二川駅といった主要鉄道駅の利用者数と、今後幹線として強化を図っていく路面電車・路線バスの利用者数に分けて示した。また、各利用者数の内訳も合わせて示した。	検討委員会 意見
31	取組みの基本的な考え方	「(イ)まちの魅力・活力を高める交通づくり」において、評価指標との整合を図るため、交通結節点の機能を高めることに加えて、「公共交通幹線軸の機能を高めること」も追記した。	事務局精査
41	公共交通幹線軸の定義	公共交通幹線軸として必要な運行本数を終日3～4本/時からピーク時間帯3～4本/時に変更した。	事務局精査
41 ～ 56	戦略の方針及び区域並びに取組み・事業	「戦略の方針」と「取組みの内容」の記載の違いが分かりにくかったため、「戦略の方針」では、各戦略の意図が明確になるように記述内容に見直した。また、「取組みの内容」は、各取組みで実施する事業の意図が明確になるような記述内容に見直した。	検討委員会 意見
42	戦略の方針及び区域並びに取組み・事業	取組み1-1の名称を「とよはし型BRT」から、現在よりも一層の利便性強化を図ることが分かるように「幹線バスの高規格化」に変更した。	検討委員会 意見

47	戦略の方針及び区域並びに取組み・事業	実施事業「豊橋駅西口の駅前地区の整備」については現時点で計画期間内に実施の見通しを立てられないため、「豊橋駅西口駅前地区の整備に向けた検討」へ変更した。	作業部会意見
54 ～ 56	戦略の方針及び区域並びに取組み・事業	戦略4の取組みの数が他の戦略に比べて多く、取組みのレベルも他の戦略と比べて違っていたため、構成を再検討して6つから3つに集約し、取組みのレベルを他の戦略との整合を図った。合わせて、実施事業についても、20事業数から11事業数(再掲除く)に集約を図った。	検討委員会意見
57 ～ 58	戦略の方針及び区域並びに取組み・事業	事業名称については、実施内容が分かりやすい表現に見直した。	検討委員会意見
61 ～ 64	実施プログラム	事業の実施時期、実施期間については矢印で示すこととした。特に前期については矢印の位置で事業の開始や完了時期を分かりやすく表現した。 事業の整備・導入・実施が長期に渡る事業や、長期も継続して実施する事業は、長期まで矢印を伸ばして示した。	検討委員会意見
61 ～ 64	実施プログラム	実施主体の「その他」について、「市民・企業等」の表記へ変更した。	事務局精査
61	実施プログラム	パッケージ事業1の説明文章で、駅前大通二丁目市街地再開発事業の実施スケジュールの表記を変更した。	作業部会意見
61	実施プログラム	パッケージ事業1に「自転車ネットワークの整備推進」を加えた。	検討委員会意見
60	実施プログラム	幹線バスのサービス水準を向上させる事業(運行時間帯の拡大、運行本数の増便)は、前回は前期で完了するスケジュールで示していたが、段階的に実施することとし、後期に渡って実施するスケジュールとした。	検討委員会意見
11 ～ 144	データ等の時点修正	昨年度時点の統計データについて、時点修正可能なものは最新のデータに修正をした。また、必要に応じて記述内容も見直した。 時点修正データは以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・11頁：公共交通路線網(図4：平成27年4月時点に修正)</li> <li>・13頁：都市計画道路網(図6：平成27年3月末時点に修正)</li> <li>・85頁：人口(図34：平成26年度データの追加、図35のH27以降の人口推移は、豊橋市人口ビジョンのデータに差し替え)</li> <li>・94頁：環境(図47～48：平成24年度データの追加)</li> <li>・95頁：財政(図49：平成26年度データの追加)</li> <li>・96頁：バス路線の廃止状況(図50：平成27年4月時点に修正)</li> <li>・97頁～98頁：コミュニティバス(「地域生活」バス・タクシー)の概要(表21～22：平成27年4月時点に修正)</li> <li>・99頁：利用者数(図51～52：平成26年度データの追加)</li> <li>・100頁：自動車保有台数(図54：平成26年度データの追加)</li> <li>・108頁：公共交通の運行本数(図62～63：平成27年4月時点に修正)</li> <li>・109頁：豊橋駅からの公共交通による所要時間(図64：平成27年4月時点に修正)</li> </ul>	事務局精査

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 111頁：公共交通利用圏域内人口割合（表24：平成27年4月時点の追加）</li> <li>・ 112頁：公共交通の利用圏域（図67：平成27年4月時点に修正）</li> <li>・ 121頁：駐輪場の利用状況（図80～81：平成26年度データの追加）</li> <li>・ 125頁：バリアフリー状況（表29：平成27年3月末時点に修正）</li> <li>・ 131頁：自転車に関する交通事故（図95：平成26年度データの追加）</li> <li>・ 132～133頁：交通事故の発生状況（図97～99：平成26年度データの追加、過年度実績の修正）</li> <li>・ 143頁：市民意識調査の満足度（図112：平成26年度データの追加）</li> <li>・ 144頁：バスに対する補助金（図113：平成26年度データの追加）</li> </ul>	
-	全体	分かりやすく、読みやすい文章に見直すとともに、用語の統一を図った。また、誤字等の修正をした。	事務局精査